



「若き土方歳三ガンバレ」

四季の部 銅賞 入間市 佐藤 敏勝

山 報

高幡不動尊

聲明とジャズ

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉 田 純 一

平成二十九年の春、「お坊さんの聲明（読経）」とジャズ演奏とのコラボをしてみませんか」と、日野市企業公社の社長である榎本氏が、わたしに声を掛けてきたのが、《聲明とジャズのゆうべ》の始まりでした。

この試みは日野市では初めてのことであり、どの様な形で行うかなど、さまざまな課題がありました。が、榎本氏を中心に、ジャズ関係者、高幡山からは黒川執事があつまり、実現へと少しずつ歩み始めました。さいわい、日野市、日野市教育委員会、日野市観光協会の後援を得ることができ、《聲明とジャズのゆうべ》の公演が日野市民会館大ホールで昨年の三月二十三日に開催することができました。

当日、ジャズの演奏はスーパーレッドバンドのプロミュージシャン、聲明は当山の職員僧侶、真言宗智山派東京多摩教区青年会の僧侶の皆様に出仕していただきました。果たして公演が成功するか心配しましたが、多くの市民の皆様が夜の六時の開演に来ていただき、わたしたちにとつて初めての試みでしたが成功裡に終わることができました。聴衆の皆様も今まで聞いたことのないお経を聞いて感激していました。

聲明とは、仏さまを讃美するお経に節をつけて唱えるものであります。今から一二〇〇年以上もの前、天平勝宝四年（七五四）の東大寺大仏開眼法要のとき、この聲明が唱えられたとの記録が残っています。聲明の節は口頭によって伝授するものとされたため、楽譜に相当するものが中世以前にはなく、節の修得には困難を極めました。が、後世になり、ようやく楽譜に相当するものが考案され、現在に至っています。また僧侶による聲明は、平曲・謡曲などの邦楽の発展に多大な影響を及ぼしたと言われています。

一方、ジャズは西洋音楽とアフリカ音楽の組み合わせにより出来た音楽であります。それは一九〇〇年頃、アメリカのニューオリンズにて発祥したとされています。

はるか昔の日本の聲明と、生まれて百年ほどのジャズとの、時空を越えた異文化のコラボが、昨年に続いて三月十五日に開催されます。今回は、お釈迦さまの入滅した日である二月十五日に行われる常楽会（涅槃会）に唱えられる聲明を中心に行われます。

お不動さまの心——(二〇四)

現代の世相から(64) 廣 澤 隆 之

いたけな幼い命が親の虐待によって失われる事件が続いていることに心が痛みます。さぞや辛い思いをいだきながら、それを秘めつつ虐待に耐えていたと思うと、言葉を失ってしまいます。このような悲しい事件が起こるたびに学校や行政の不適切な対応が批判され、取り組みの改善が約束されます。しかし学校や役所の職員が置かれている現場については詳しい情報が伝わりません。そこで、例えば児童相談所の職員数と相談件数や緊急対応件数などを調べてみますと、現場が厳しい環境におかれていることも分かってきました。そして児童相談所で把握している児童虐待の数は氷山の一角で、実態はさらに深刻であることが予測できます。

学校や役所などの対応について調べていて、恥ずかしながら私の法律にかんする無知に気づきました。民法に親が子供に対して「子の利益のために」「監護及び教育に必要な範囲内でその子を懲戒することができ」(民法八二〇条、八二二条)という、一般に懲戒権といわれる権利が

あるということを知りました。

これは平成二十三年に改正されたものですが、痛ましい虐待事件を反省し懲戒権を削除する方向にあるという報道もあります。私は法律にうといのでこの問題に深入りする気はありませんが、この懲戒権は明治時代の民法から引き継がれてきたということが気になりました。そこでは明らかに子供の懲戒とは「しつけ」でありそこに体罰を含む発想があつたと思われまふ。現在ではいかなる状況でも体罰は許されなくなりました。そして脳科学者や心理学者によっても体罰が子供に与える悪影響は科学的に立証されているそうです。しかし体罰でない懲戒権が法律で認められているのです。そこで懲戒権の行使を親が主張すると学校や役所は家庭の問題に介入することに腰がひけますし、無自覚に懲戒しつけし体罰というところで家庭内で虐待が行われても止める機会を失うことにもなります。

たしかに私たちの文化はしつけのために子供を叱り、その場合に体罰を加えることを容認す

る傾向がありました。そのことを私は象徴するものとして「雀の学校」という童謡を思い浮かべました。その歌詞では先生が「鞭をふりふり」教えています。私はそれを単純に体罰と結びつけました。しかしある教育大学の教授の文章を読むと、「雀の学校」の先生が振り回しているのは「教鞭」という鞭、あるいは音楽の指揮棒と解釈されています。教育学の先生の意見に従うとしても、「教鞭」というように教育の場に馬を叩く道具でもある鞭という単語が使われたのでしょうか。

ここには中国の漢語における教育と鞭の観念や日本での教育を考え直すきっかけがあらうに思えます。



魚藍観音像 江戸時代

そこでさらに私たちが考えなければならぬのは人々を導く不動明王が鞭どころかもっと危険な剣を持つて怒りの表情をさらしていることです。この姿から暴力を容認していると理解することはできません。というのとは不動明王が立ち向かっているのは私たちの心が悩みや苦しみを生みだしてしまう心のあり方です。そのような心に潜む欲望や怒りや憎しみ、そして迷いや無

知といった煩惱を断ちきる武器が不動明王の剣なのです。そして煩惱をいだく私たちの心に激しい怒りをもつて立ち向かっているのです。そしてその煩惱を不動明王は燃えさかる智慧の炎で焼き尽くすのです。

不動明王と同じように文殊菩薩も剣を持っています。その剣は煩惱を断ちきる仏さまの智慧を象徴しています。そして煩惱に立ち向かう激しい怒りは衆生を救う強い慈悲の象徴なのです。

まさしく、人を導く怒りは心の中に求めなければなりません。しかも私たちは人を導く以前に不動明王に導かれる迷いの中に生きる者なのです。したがって私たちは不動明王の怒りを私たちの心で受けとめなければならぬでしよう。強力な力は幼い子供を虐待するために発揮するものではありません。私たちの心の中にこそ厳しく対治すべき迷いの心があることを自覚することが大事です。激しい怒りは、この迷いを克服する力でなければ

ばなりません。しかも不動明王の怒りは迷いから人々を救い出そうという大きな慈悲の表れなのです。

苦しむ者をつらい境遇から引きだし、喜びをともに分かち合うために他の人に力を尽くす慈悲の心がすべてに優先するので。今、家庭の中に幼子を溺愛する極端もあり、ときにはしつけと称して虐待する極端もあります。どちらにも慈悲の心が欠けています。子供が社会に出るためには厳しいしつけも必要でしよ。また愛おしく抱きしめて子供に安らぎを与えることも必要でしよ。そのときに私たちにはいつも問われているのです。慈悲の心が欠けていないかという反省が求められているのです。優しい慈悲に包まれて健やかな育つ子供こそ、かけがえない宝となるでしよ。

万葉の歌人山上憶良の有名な歌を改めて味わってみましよう。銀も金も玉も何せむに勝れる宝子に及かぬやも

(金銀宝石など貴重なものにまさる宝ものといえは子供に及ぶはない)

廣澤隆之先生のプロフィール

● 大正大学名誉教授

● 浄福寺住職

自然豊かな高幡不動尊の 春をお楽しみ下さい

3～5月頃咲く主な花を紹介致します



ショウジョウバカマ



ウグイスカグラ

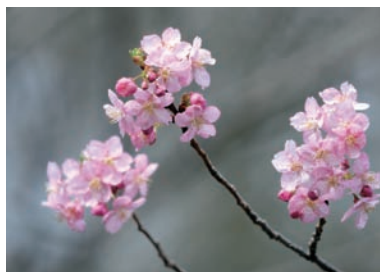


ミツマタ



タチツボスミレ

3月頃 さんしゅう山菜萸・梅(約30株)・
みつまた三桮・かんすげ寒菅・椿(200株)・
黒文字・きくざいきちげ菊咲一華・こぶし辛夷
(20株)・しきみ橘・桜(河津桜・
江戸彼岸桜・染井吉野・
八重桜等 300株)・
日向水木・土佐水木・
令法・きふ木五倍子・かたくり・
十二単・しやうじやう猩々ばかま・
春蘭・すみれ堇(各種)



カワツザクラ



イカリソウ

4月頃 ほけ木瓜・あせび馬酔木・山吹・山藤・
藤・れんぎやうどうだん・木蓮・連翹・
二輪草・熊谷草・稚児百合・
ほうちやくそう宝鐸草・黒花蝦梅・水芭蕉・
クリスマスローズ・いかり草



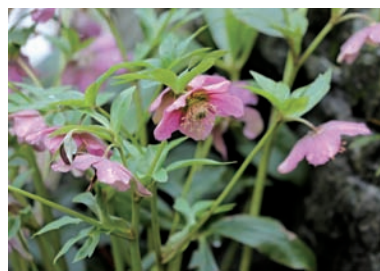
クマガイソウ



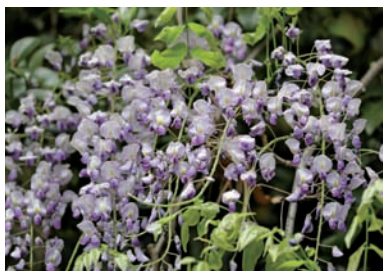
シャクナゲ

5月頃 泰山木・山法師・しやくなげ右楠花・
定家かずら・花水木・
牡丹・小手毬・大手毬・
しやくやく芍薬・しやが二人静・著莪(群生)・
梅檀

(このほか山内には自生の野草が
たくさん見られます)



クリスマスローズ



ヤマフジ



オオデマリ



センダン



節分会豆撒式タレントの皆様勢揃い 2/3

高幡不動尊 フォトニュース



日社協への募金を大坪市長に 12/28



不動堂前で木遣り～江戸消防記念会の初詣 1/10



お加持をまつお護摩札～元朝一番護摩 1/1



常楽会法要～於大日堂 2/15



吉野孝壽先生のご法話 1/28



賑わう初不動だるま市 1/28



福豆作り～遍照講の皆さんのご奉仕 1/24



元旦零時を合図に～除夜の鐘 1/1



五重塔へ一斉放水 1/25



「寒さに負けないように」アルバイト学生さんへ 12/31

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

不動堂仏具

日野市 川澄幸子

日野市 土方邦人

日野市 平 広己

日野市 森久保雅道

日野市 滝瀬高行

日野市 平 公郎

日野市 小宮延雄

日野市 中嶋基宏

日野市 市川資忠

日野市 伊藤 岑夫

日野市 稲葉 進夫

日野市 岡崎 悟夫

日野市 小峯 敏夫

日野市 佐々木 誠夫

日野市 佐藤 収一

日野市 清水 富夫

日野市 下田 孝治

日野市 須崎 守剛

幟旗奉納者芳名

(平成三十年一月一日〜三十二年三月三十一日)

高崎市 割田 由香

さいたま市 山口 忠

葛飾区 落合 延江

練馬区 百瀬 宏和

小金井市 大熊 榮子

西東京市 二瓶 由佳子

西東京市 二瓶 高吉

西東京市 今井 煌子

清瀬市 沖山 順之

青梅市 豊泉 博美

立川市 大森 久美子

日野市 岩 典雄

日野市 増村 浩雄

日野市 中村 武雄

日野市 安川 雄

日野市 大増家精肉店

八王子市 大熊 健一

八王子市 大熊 彰人

町田市 柏谷 雄世

川崎市 山 芳男

相模原市 相模原市 渡井 貴

相模原市 相模原市 佐野 千尋

境内整備緑化資金

寄進者芳名

(平成三十年一月一日〜三十二年一月三十一日)

日野市 遠藤和子

日野市 土方重雄

日野市 田倉 美枝子

小金井市 熊野 金子

彦根市 西澤 政男

千体地藏尊

奉安者芳名

(平成三十年一月一日〜三十二年一月三十一日)

松戸市 黒川 浄慧

市川市 山口 善正

三鷹市 荻窪 麗子

日野市 前澤 ケイ子

横浜市 戸松 格三

横浜市 戸松 格三

一、品名
稲荷社鈴紐

奉納者 伊東市

山田節子

一、品名
座布団

(不動堂ざる鐘用)

奉納者 日野市

須崎継之



五月大祭記念講演

五月大祭中左記の通り記念講演がごございます。
ご知友お誘い合せてご聴講下さい。

記

一、日時 五月二十八日(火)午後二時から

一、会場 五重塔塔院大ホール(聴講無料)

一、講師 声優・俳優 増岡 弘 先生

一、演題 「サザエさん一家は 幸福みつけの達人ぞろい」

講師プロフィール
「マスコさんが語る日本の家族」

アニメ「サザエさん」のマスコさん、「それいけ!アンパンマン」のジャムおじさん役の声優としてお馴染み。劇団東京ルネッサンスの代表として、若手の育成にも注力している。一方、趣味の味噌づくりを通じて活動している。



各 種 募 金 総 計 表 (平成31年2月20日現在)

インドハンセン病救援金	(21回)	15,900,000円也
阪神大震災救援金	(4回)	4,104,039円也
トルコ大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
台湾大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
三宅島災害救援金	(2回)	2,000,671円也
インド大地震救援金	(1回)	512,609円也
○イラン大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
カンボジア小学校建設資金	(1回)	100,000円也
ラオス教育振興資金・井戸掘削援助資金	(1回)	800,000円也
新潟中越地震・中越沖地震救援金	(3回)	3,100,000円也
○スマトラ沖地震大津波災害救援金	(1回)	200,000円也
スリランカ・スリジナラタナ社会福祉協会	(1回)	1,030,000円也
○アフガニスタン児童教育援助金	(7回)	5,500,000円也
○アフリカ緊急募金	(12回)	5,600,000円也
パキスタン北部大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
ジャワ島地震救援金	(1回)	1,000,000円也
能登半島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ソロモン諸島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ミャンマー大洪水救援金	(1回)	500,000円也
四川省大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
読売愛と光の事業団社会福祉事業基金	(1回)	300,000円也
スマトラ・サモア地震救援金	(1回)	200,000円也
中米ハイチ大地震救援金・チリ大地震救援金	(3回)	1,300,000円也
宮崎県口蹄疫被害畜産農家救援金	(1回)	1,000,000円也
日野市社会福祉協議会への寄附	(20回)	6,000,000円也
東日本大震災救援金	(18回)	32,000,000円也
ネパール大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
熊本地震救援金	(4回)	5,000,000円也
西日本豪雨災害義援金	(1回)	1,000,000円也
総 計	(110回)	93,647,319円也

募金の御礼とご報告

高幡不動尊金剛寺執事

平成九年以降皆さまから寄せられました各種募金の合計は左記の通りでございますので御礼旁々ご報告申し上げます。

尚 ユニセフ関係募金（○印）は合計一、三〇五万円に

東日本大震災救援金は合計三、二〇〇万円になっております。

多摩八十八ヶ所巡拝のご案内

当山では昭和四十八年より毎年、四月から十月にかけて多摩八十八ヶ所巡拝を実施致しております。巡拝は初めての方でも先達のお坊さんの案内をいただき乍ら月一回の楽しい巡拝が出来ます。ご知友誘い合せてご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

一、巡 拝

毎月第一週の火・木・日曜日

(五月は第二週)

一、会 費

四九、六〇〇円

(七回分)

分割納入も可

(納経料・バス

代・保険料等

を含む)

一、昼 食

各自持参

※詳しくは

高幡山事務局内

龍華会まで

電話 ○四二―五九一―〇〇三二番



春の行事案内

(毎月十五日にはお焚き上げが行われます)

◇三月

○10日(日) フリーマーケット

○17日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

○21日(祝) 春分の日 彼岸会法要〈午前七時〉大日堂

弘法大師正御影供 〈午前七時〉大日堂

月例写経会〈午後一時三十分〉法話 山内僧侶

千体地藏尊月例法要〈午後二時〉法話 山内僧侶

○24日(日) 月例祭(ご縁日)

◇四月

○8日(月) 花まつり(灌仏会)〈午前十一時〉

尚、甘茶接待は四月四日(木)～八日(月)まで行います。

○14日(日) フリーマーケット

○21日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

月例写経会〈午後一時三十分〉法話 山内僧侶

○27日(土) 春季大祭国宝まつり

29日(祝) (詳細は左頁参照)

◇五月

○11日(土) 第二十二回ひの新選組まつり

12日(日) (詳細は十頁参照)

○11日(土) 新選組友の会・歳三忌(詳細は十頁参照)

○12日(日) フリーマーケット

○19日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

○21日(火) 月例写経会〈午後一時三十分〉法話 山内僧侶

○24日(金) 千体地藏尊月例法要〈午後二時〉法話 山内僧侶

○28日(火) 五月大祭

記念講演 午後二時―聴講無料―

講師 声優・俳優 増岡 弘先生

演題 「サザエさん一家は幸福みつけの達人ぞうい

マスオさんが語る日本の家族」

(詳細は六頁参照)

花まつり法要と甘茶接待

四月八日にお釈迦様のお誕生をお祝いする花まつり法要が執り行われます。灌仏会とも呼ばれるこの法要は、お釈迦様がルンビニーでお生まれになったとき龍王が甘露の雨を降らせて祝福した故事にならない誕生仏に甘茶をそそぎます。

当山でも花御堂を飾り、誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いの花まつり法要(灌仏会)が行われます。

甘茶接待 四月四日(木)

～

四月八日(月)

花まつり法要 四月八日(月)

稚児募集要項

来る四月二十八日(日)の春季大祭国宝まつりのお稚児を左記の通り募集致します。奮ってご参加下さい。

記

一、日時 四月二十八日(日) 午後一時

一、集合 午前十一時三十分(本坊)

一、申込 四月二十五日まで

一、冥加料 金七千円也

(お護摩料、お守り札、稚児袋、お供物、

衣裳料、化粧料、弁当三人前)

一、年齢 三歳～七歳位まで

一、二準備 服装自由(しこき紐・細紐を各一本ご持参下さい)

履物はなるべく草履・足袋をご持参下さい。



春季大祭国宝まつりのご案内

○四月二十七日（土）

大 写 経 会

写経奉納大護摩修行……………午前九時三十分（客殿三階）

※記念法話【聴講無料】……………午後十一時三十分（不動堂）

講師 浄福寺 ご住職 廣澤 隆之先生

演題 「ことばと身体」

○四月二十八日（日）

春季大祭国宝まつり 世界平和祈願

稚児練供養大護摩修行……………午後一時（不動堂）

※奉納演芸【入場無料】……………午後三時（塔院大ホール）

柳 家 三三師匠 落語会

江戸家 小猫師匠 ものまね

◆賑わいますのでお早めにお出かけ下さい。

五重塔仏伝彫刻拝観日【拝観無料】……………午前十時～午後四時

○四月二十九日（月）昭和の日

千体地藏尊総回向法要

午前の部……………午前十時（千体地藏堂）

午後の部……………午後一時（千体地藏堂）

※記念講演【聴講無料】……………午後二時（客殿二階洋間）

講師 東京都立大学名誉教授 峰岸 純夫先生

演題 「中世多摩地域と高幡不動尊の歴史」

※奉納神輿練り（地元愛好会奉仕）……………午後〇時三十分

出店 がらくた市（骨董市）ほか

大 写 経 会 の お 知 ら せ

当山では、春季大祭国宝まつり中左記の通り大写経会を奉修致しますので、ご知友お誘い合せてご参加下さい。

記

一、日 時 四月二十七日（土） 九時三十分

二、会 場 高幡不動尊客殿

三、会 費 金五千円也（尚、当山招待者は三千円）

（含写経奉納金、昼食代〔精進料理〕、記念品）

一、募集人数 先着一五〇名

一、日 程

受	付	9:00分
客殿	合 集	より
写 殿	摩 修	9:20分
大 護	行 式	9:30分
写 經	納 式	11:30分
貫 主	撈 食	12:15分
貫 念	法 話	13:00分
記		

○お申込・お問合せは高幡不動尊写経係まで
TEL ○四二―五九一―〇〇三二番（代）

千 体 地 蔵 尊 総 回 向 法 要

左記によって千体地藏尊総回向法要を勤修し、皆様方の諸願成就・万霊供養をご祈念申しあげます。ご知友お誘い合わせてご参拝下さい。

記

一、日 時 四月二十九日（月）昭和の日

午前の部 十時から

午後の部 一時から

一、会 場 塔院千体地藏堂

二、冥 加 料 金貳千円也（但、お札料）

○ご回向の塔婆をご希望の方は別に参千円（二体）を添えてお申し込み下さい。



第二十二回 ひの新選組まつりの概要

ひの新選組まつりが来る五月十一日(土)・十二日(日)の両日左記の通り盛大にとり行われます。

記

五月十一日(土)

新選組隊士総慰霊法要 正 午 五重塔々院大ホール

参加料等はありませんので奮ってご参列ご焼香下さい

新選組隊士コンテスト 午後二時 五重塔々院大ホール

五月十二日(日)

新選組隊士全員集合 午前九時二十分 大日堂前

新選組隊士出発式 午前九時四十五分 土方歳三像前

このあと午前中は高幡山境内及び門前町で隊士の皆さんのパフォーマンス等

昼食後日野第一小学校へ移動

新選組パレード(甲州街道交通規制 午前十時〜午後四時)

会場 甲州街道川崎街道入口より日野駅まで約五〇〇米

パレード 三〇団体余り・約一〇〇〇名

隊士パレード 午後一時三十分〜三時

催し物と 日野宿 会場内各所でさまざまな催しもの及び出店があります。

出 店 高 幡 高幡不動尊境内では十一日・十二日の両日新選組関係市町村

や大震災被災地の物産展等が予定されています。

尚十二日は月例のリサイクル市が開催されます。

※都合により開催内容が変更される場合があります。詳しくは日野市観光協会ホームページ等で確かめ下さい。

新選組友の会・第四十四回歳三忌のお知らせ

五月十一日(土)

午前十一時 石田寺墓地にて読経・焼香

午後二時 高幡不動尊信徒会館にて記念講演

講師 植松三十里氏(作家) 演題『松平容保』

参加ご希望の方は「大出俊幸氏」にお問い合わせ下さい。TEL〇九〇―七七三六―九〇七三
会費 二、〇〇〇円(含記念品) 当日会場支払 ※募参のみは無料です。



門前参道での演武



隊士全員集合(大日堂前)

山主の主な動静

12/2 円能院本葬(焼香)・12/3 ジェイコム撮影・12/5 観光協会正副理事会・よさこいまつり実行委・12/7 初詣警備会議・12/9 総代世話人会・12/11 報恩講(本山)
・12/13 煤払い・12/14 京王本社年末挨拶・ジェイコム撮影・12/15 多摩菊花連表彰式・12/17 もみじ灯路実行委・12/22 星まつり法要・12/27 社会福祉協議会募金お届け・市長面会・1/1 1/3 新年大護摩修行・1/5 牛王宝印々可・1/17 江戸消防新年会(新宿)・淡交会互礼会(ニューオータニ)
・1/18 内局年賀・1/21 まちおこし協議会・1/22 初不動・節分警備会議・別格本山会議(真福寺)
・1/25 文化財防火演習・1/28 初不動大祭・1/31 豆煎り式・2/3 節分会・2/5 教区総会(京プラ八王子)・2/6 多聞寺通夜(導師)
・2/7 幡山会新年会(立川)・2/8 潤徳小評議会・2/12 新選組まつり実行委・2/14 遍照講新年会・2/15 常楽会・2/18 消防反省検討会・2/19 観光協会正副理事会・2/20 警察反省検討会・2/22 観光協会写真表彰式・2/23 光明寺(福島第一教区)参拝団・2/27 京王バス研修(講師)

山内消息

煤払いとおみがき

十二月十三日早朝、煤払が行われました。一年間のお護摩でお不動様や両童子様そして不動堂についた煤を竹で作った長い箒を使って払います。職員一同手分けして山内の全てのお堂を正月にむけて綺麗にしました。手ぬぐいを頭に巻きマスクをして煤を払いましたが、終わった後に耳など顔のいたる所が黒ずんで煤を落すのが大変でした。続いて十七日には各お堂の仏具のおみがきが行われました。ご詠歌の皆さんにお手伝いいただきましたが、それでも汚れ



仁王門の煤払い

毎年全国各地よりお申し込みがあり、本年もお堂に入りきれない程大勢の方々に参加されました。法要後は冬至うどんの接待にて冷えた身体を温めて頂きました。
(速水記)

ごちほういんか
牛王宝印可 (1/15)

当山では毎年一月十五日に不動堂内陣参拝の際、牛王宝印のお授けがあります。



お不動様も煤払い

この牛王宝印は重文のお不動様と同じ材で作られたと伝えられ、古来身体安全・無病息災・健康長寿によく効くといわれております。

平成最後の本年も早朝五時からの護摩祈禱に大勢のご信者さんが参拝され、ご宝印を額に受ける列が長く続きました。
(伊大知記)

総本山内局来山 (1/18)

一月十八日、京都の総本山智積院から芙蓉良英宗務総長をはじめ、内局の皆様総勢八名が新年の御挨拶に来山されました。大護摩修行に参列された後、貫主と懇談されました。ご一行はその後大本山高尾山薬王院へと向われました。
(上田記)



牛王宝印のお授け



総本山ご一行様

文化財防火デー (1/25)

「只今より、訓練を開始します。」

日野消防署長・当山貫主・日野市消防団長への開始報告から、文化財防火デー消防演習は始まります。

五重塔初重より火災発生。火点確認後、初期消火、一一九番通報を指示。その後、自衛消防隊・出店業者・商店会に屋内消火栓の使用・文化財の搬送・負傷者の保護・救護所の設置等を指示。到着した消防隊に情報提供し、引き継ぎ。大隊長の合図により一斉放水。

訓練の修了報告後、各代表



大事なのは初期消火

より訓示を頂いて解散となりました。

この冬は例年にない程雨が降らず、乾燥した日が続きましたので非常に身の入った訓練となりました。
(直井記)

豆煎式 (1/31)

午前十時の大護摩に続き多くの参拝者が集まる中、豆煎式が執り行なわれました。

毎年節分に撒く福豆を煎る行事で、参加された日野わかくさ幼稚園の園児達は、大きなしゃもじで元気に福豆を煎ってくれました。

その後、園児達は不動堂前で一足早い豆撒き「福は内！」のかわいい声が境内に響き渡りました。
(丸山幸記)

年末・年始の行事に参加して

ご参加された方々のお声を紹介いたします。

星まつり (12/22)

川越市 本間 孝幸
星まつりに初めて参加させていただきました。温かいうどんを振舞っていただき、今年一年の区切りに幸せな気持ちになりました。心より有難く、一年を無事に過ごせた事に感謝いたします。

調布市 井出 悦子
今年も元気で参加し、おい



星まつりの冬至うどん

しいおうどんの接待を頂き感謝です。一年間色々な事がありました。その都度お参りに来て元気を頂き頑張ってきました。又、納めの不動で改めて御礼にお参りさせて頂きます。ごちそうさまでした。

府中市 平子ミネヨ

毎年星まつりに参加させて頂き、本年も無事健康に過ごせた事に感謝し、来年も何事もなく健康に過せますようにとお不動様にお祈りしました。うどん、白菜のお新香とってもおいしく頂きました。

府中市 菅野 恵

いつもお不動様には大変感謝致しております。新年に始まり、最後は星まつりにお参りさせて頂き、今年も一年無

事に過ごす事が出来たのもお不動様のお陰様と感謝の気持ちで一杯です。

四季折々の木々や花々等、毎年楽しませて頂いております。私の心の支えと言いますか、お参りしますと「ほっ」と致します。

さいたま市 池野 実幸
久しぶりの参加でしたが、とても有難く貴重な時間を過



やや緊張気味？
出発前のお稚児さん

ごさせて頂きました。皆さんとおうどんを頂くのも人のつながりを感じられ、うれしく思いました。

成人式 (1/14)

日野市 吉川 真央
生まれて二十年、そのほとんどを高幡不動で過ごし様々

な経験をしてくきました。私の多くの思い出は高幡不動尊と結びついています。

高幡不動尊
は家から近い

ので、幼い頃から友人達と気軽に足を運ぶ場所でした。中学校も高幡が地元であったので課外授業でお邪魔したり、高校や大学の時は様々な場面で地元を紹介する機会があり、高幡不動尊の話をしました。二十歳を迎えた今、改めて故郷に大切な場所があることの喜びをかみしめつつ、気持ち新たに、これから成長していききたいと思います。

初不動稚児行列 (1/28)

横浜市 上田 朔矢
昨年に続き、二度目の参加です。着物と化粧の姿がとってもかわいらしく楽しみにしていました。

今年は祖母が参加できてと



気が引締る
成人式の晴姿

ても良い記念になりました。

日野市 山口ひより
三才ということで心配でしたが、本人のやりたいという気持ちで強く参加させていただきました。

おかげさまで当日は緊張した面持ちながらお化粧やお着物、袴を着付けてもらい、親子共々ドキドキワクワク嬉しさたくさんの方々にも声をかけていただき、ありがたい気持ちと成長を感じることができ、大変感慨深い思い出になりました。一年元氣いっぱいのごさたらと思います。ありがとうございました。

八王子市 池田 成志
お世話になりました。
今回で四度目(姉とあわせ



園児もお手伝い 豆煎式

豆煎り式(1/31)

日野わかかき幼稚園保護者

鈴木 綾子

て)の参加でしたが、毎回とても貴重な経験をする事ができてうれしく思います。ありがとうございます。

日野市 鈴木都緒子

今回、三回目の参加で、綱を引くという大役を頂き大変恐縮しております。

稚児行列は小さい時しかできないので、娘にとっても親にとっても我が家では大事な行事になっています。あと二回できるので、また必ず参加したいと思っています。

「豆煎り式は何をするのかな。」と想像を膨らませ参加した息子でしたが、園長先生の普段とは違う装束を掛けた姿やお坊さんの荘厳な儀式を目にし、緊張しながらも背筋がぴんと伸び頼もしく感じました。内陣で手を合わせお不動様のお顔を見ると優しく見守ってくれているようでした。その後大きな釜で豆を煎る体験もさせて頂き、日本の風習を学ぶ貴重な時間となりました。今年は頂いた豆で豆まきの意味を感じ、家族の無病息災を願うことができました。

日野わかかき幼稚園保護者 岡畑 智孝

雪の降りそうな当日、伝統ある豆煎式が始まりました。お不動様に毎日感謝し手を合わせた後、大香炉の上で園長先生、お坊様と共に福豆を煎らせて頂きました。モクモクと白いけむりが空に舞い上がって行く様子は、子供達の輝かしい未来を導いて下さっているようでした。

「豆まきのお豆楽しみにしててね。」と妹に言い参加した豆煎り式。護摩修行の間、静かに正座している姿に成長を感じ、お友達と楽しそうに豆まきをしている姿に、春から小学生になる子供達の新生活が楽しいものになりますようにと心から願う一日となりました。

今まで何気なく行っていた豆まきも、娘達が大きくな



かわいい声で「福はーうちー」

とても荘厳で貴重な経験はこの春一年生になる娘の心に残り、優しく支えて下さる事と思います。

日野わかかき幼稚園保護者 林 香奈子



「あおぎますよー」豆煎式の大うちわ

「あおぎますよー」豆煎式の大うちわ

私に携えた事は貴重な経験となりました。そもそも寺院でアルバイトをする事自体滅多にない事なので、これからの人生に活かしていきたいです。

アルバイト 牧野 麗香

私は今年で三回目のアルバイトをさせて頂きました。毎年働けることをすごく楽しみにしているため、今年も採用して頂けて本当に嬉しかったです。交通安全祈願所でたくさんさんのことを経験しました。人に物を教えるということが難しく、自分の言語力不足を痛感しました。来年は、もっと気を配れるようになります。

もじで煎ってくれた豆をまくことで、今年は沢山の福が来てくれそうな気がします。年の数お豆を食べた娘が「自分で煎ると特別おいしい気がするね。」と嬉しそうに言っていました。卒園を前に貴重な体験をすることができました。

アルバイト 叶谷 優

師走というだけあって年末年始のお坊さんの仕事は多岐にわたり、お経を唱えている以外も大変忙しい事に驚きました。お寺の様子等を内側から見るのができ、お手伝い



お稚児さんに変身中

節 分 会

今年は快晴の穏やかな天候に恵まれ、年男の皆様には約一・五トンの福豆を撒いていただきました。年男年女に特別参加された方は、榊原郁恵さん・つのだ☆ひろさん・寺泉恵さん・吹越満さん・IMALUさん・藤原浩さん・岩崎愛子さん・ミス日本各受賞者の皆さん・祇園の舞妓さん・ハローキティちゃん・ピーポくん・キュータくん・イータクさんのキャラクターも参加しました。



つのだ☆ひろさんと榊原郁恵さん

女優 榊原 郁恵
気持ちの良い快晴の中、多くのお客様の前で初めての豆撒きができ、年女の良いスタートとなりました。これからますます皆様に喜んでいただけるようがんばります！
たくさんさんの福が皆様に届きますように！！

歌手 つのだ☆ひろ

暖かい初春の和やかな陽射しの中で笑顔の花が揺れる。その花は境内に咲き乱れ歓声に変わる。慶びをいっぱいを含み膨らんだ福豆が青い空に浮び、人々の掌中に収まる。新たな年が始まる歓喜の祭りだ。「高幡に福の豆舞う節分会」

俳優 寺泉 恵

平成最後の年の節分会。亥年生まれの方は年男です。素晴らしい天候に恵まれた本日、高幡不動尊にいられた多くの皆様に福豆をまく幸せを感じております。福は内々！

歌手 藤原 浩

平成最後となる年です。今年も豆まき式に参加させて頂きましてありがとうございます。

す。皆様と共に健康を祈り、たくさんさん福をまきたいとおもいます。
感謝合掌

祇園舞妓 市 紘

今年初めて寄せてもって沢山の人たちに福を届けることができ、とても嬉しそうです。皆さんにとって素敵な一年になりますように。おおきに。

祇園舞妓 小奈都

たくさんさんの人と一緒に楽しまさせて頂いて、普段中々できひん事やので、貴重な体験をさせて頂きました。

毎年あることやので来年もきとおす!!そして、お豆も美味しおした。皆様にとって良なお節分にはたら嬉しおす♡



吹越満さんとIMALUさん



ミス日本の皆さん

歌手 岩崎 愛子

快晴の空のもと沢山の方々でにぎわっていて豆まきをさせて頂き感謝です。毎月二十八日に境内で開催している定期ライブで、また皆様にお会い出来るのを励みに頑張ります。皆様にとって幸多き一年となりますことを祈念しております。

ミス日本クラブリ

ミ日本ミスポツ 度會亜衣子
豆まきを通して、お集まりいただいた皆さまと心が通じ福を共有できたように思います。このような晴れやかで笑顔にあふれた素晴らしい式に参加させていただき、本当にありがとうございます。



ハローキティちゃん

「ミス日本水の天使」
ミス日本ミス着物 谷 桃子
豆まきをしながら来てくださった皆さまの笑顔を見えてきて、とても幸せな一日でした。たくさん手を振ってくださいたり、あたたかく迎えてくださり嬉しかったです。貴重な機会を頂き、ありがとうございます。

ミス日本みどりの森 藤本 麗華
とても素晴らしい経験をさせて頂き光栄です。お天気にも恵まれ、沢山の方にお越し頂き嬉しかったです。皆様の素敵な笑顔を沢山見る事が出来私も元気を頂きました。多くの幸せが皆様に訪れますように……。

高幡いきもの曼荼羅 ⑥

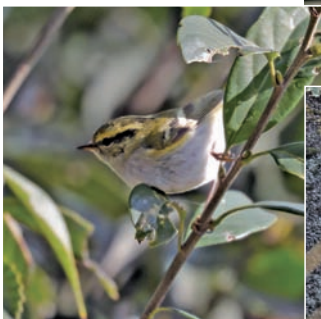
地球は一年をかけて太陽を一周します。四季の移り変わりがあるのもその為ですし、私達人間もその影響を受けて生活しています。例えばそれは節分の豆撒きに代表される節句ごとの行事にも現れています。もちろん地球に暮らす生き物たちも例外ではありません。

高幡不動尊の境内でも毎年暦に合わせたかのように生き物の営みが繰り返されています。ある種類の鳥を見掛けるのはほぼ同じ時期であり、植物もいつもどおり花を咲かせてくれます。しかし稀に珍しい生き物に出くわすことがあります。今年キマユムシクイの姿を見かけましたし、何年前には綺麗なソウシチョウの群れに遭遇しました。

こうした自然との一期一会は、その裏側に隠された生命の本質を、様々なサインで私達に知らせてくれます。これも自然観察の醍醐味ではないでしょうか。さて、この山報をお届け出来る頃には、境内の水場でアカガエルが産卵していることと思います。



アカガエルの産卵(昨年3月)

キマユムシクイ
山内八十八ヶ所にて

アオゲラ(鐘楼付近)

なにげなくつかっている仏教のことは―喇叭(ラッパ)

音の出る先端が朝顔のように広がった金管楽器のひとつを、また、そのような形をしたトランペットやホルンなどを総称して、ラッパといいます。

その語源には諸説があり、

ある説ではオランダ語の「ループル roeper」(メガホンや拡声器のような物)であるというもので、呼遠筒と訳されていました。

またある説では、インドのサンスクリット語の「叫ぶ」

「咆吼」という意の「ラバ rava」が語源であり、この「ラバ」の語が中国に入って金管楽器の名として「喇叭」の字が当てられたというもので、この説が有力とされています。

(小林靖典)



お不動さま教える?

ご質問 釈迦如来と普賢菩薩と文殊菩薩が、ひと組で安置されていることには、何か理由があるのでしょうか? どうもお不動さま教えてください。(前々号と前号のつづき)

お答え

前々号では、文殊菩薩の姿勢とその役割について、そして前号では釈迦如来と普賢菩薩と文殊菩薩が、ひと組で安置されていることの理由の一部をお答えいたしました。そこで今回は、『華嚴経』において、普賢菩薩と文殊菩薩がお釈迦さまの協侍とされたことの理由について、お答えいたします。それには『華嚴経』における普賢菩薩の役割を確認していくことにしましょう。

『華嚴経』の中で普賢菩薩は、「普賢行願」という衆生を済わんとする願いを説き、常に実践している菩薩とされています。この普賢行願とは普賢の十大願(十の大いなる誓願)ともいい、具体的には、①礼敬諸仏(あらゆる仏を敬うこと)、②称讚如来(仏の徳を称讚すること)、③広修供養

(仏を供養すること)、④懺悔業障(これまでの悪いし行為を悔いて仏に許しを請い、淨き戒を保つこと)、⑤隨喜功德(仏や一切衆生の功德を、自分のことのように喜ぶこと)、⑥請轉法輪(妙なる教えを説くことを仏に請うこと)、⑦請仏住世(仏が涅槃に赴くことなく、この俗世に留まるよう請うこと)、⑧常隨仏学(仏の教えを学び続けること)、⑨恒順衆生(苦しむ衆生に常に寄り添うこと)、⑩普皆廻向(この①から⑨までの善行によって得られた功德を、すべての衆生に振り向けること)をいいます。

また普賢菩薩が白象に乗っているのは、この十大願において決して退くことが無いと普賢菩薩の決意を表しています。

このように善行や、善行がもたらす善い結果を福德といひ、この福德を司るのが普賢菩薩なのです。この普賢菩薩の福德と対をなすとされるのが、前々号にお話したように文殊菩薩の智慧であり、この文殊の智慧と普賢の福德との両者を体現しているのが、まさに中央の釈迦如来なのです。

正月から節分の行事を済ませたと思ったらもう三月、月日の経つ早さを感じるのは編集人だけでしょいか？ あるバラエティ番組で「トキメキ」が無くなっているからだとか（諸説あるそうです）そう言われてみると合点がいきます。本号は正月・節分の行事、春の行事案内等を中心に編集いたしました。ご一読いただき「トキメキ」と新しい発見をしてみては如何でしょうかお待ち申し上げます。

年4回発行・再生紙使用